

3・4年 B年度

内容解説資料

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのでしょう。 ①教科書 P4・5「道徳で学ぶ 20 のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書 P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに勇気ややる気が湧いてくるかについて話し合う。 ④教科書 P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	【自己を見つめる】 20の「とびら」を見て、自分が考えていきたいことや、自分の生活に関わりが深いのはどの道徳的価値なのかを考えている。 【多面的・多角的に考える】 話し合いの「こつ」を使って話し合いながら、友達の考えを受け止めながら聞くことで、自分がそれまで考えなかったことに気づけるよさを確認している。	
	4月 (3)	【できることは自分で】 A (3) 節度、節制 2 目覚まし時計	自分で生活の時間を決めたのに、守り続けることができなかったリカの姿などを通して、自分でできることを自分でするために大切なことを考えさせ、節度のある生活をしようとする実践意欲を育てる。	★自分でできることを自分でするために大切なことは、何でしょう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。P11-13の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「目覚まし時計」を読み、リカはどんなことを考えて「わたしのきまり」を決めたのかを考え、話し合う。 ③涙がぼろりと流れてきたとき、リカはどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④気持ちのよい生活を送るため、何か自分でしていることはあるか、また、これから自分でしてみたいことはあるかを考え、発表する。 ▼保健の授業と関連させ、健康に過ごすために自分でできることについて考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分でできることは自分でやり、節度のある生活をするこの大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身で考えて度を越すことなく過ごすために、自分はどんなことを大切にしているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人から言われなくても規則正しい生活をするについて、その難しさや大切さの両面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 節度を保ち、自分でできることをきちんとし続けるために、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	体育科 健康教育
	4月 (4)	【心を表す礼ざ】 B (8) 礼儀 3 土曜日の学校	地域の人に昔遊びを教わりながら礼儀について感じ入る子どもたちの姿などを通して、礼儀正しくすることの大切さについて考えさせ、言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接しようとする心情を育てる。	★礼ざ正しくすることは、どうして大切なのでしょう。 ①「礼儀正しい」とはどういうことを考え、発表する。 ②「土曜日の学校」を読み、友花さんが「ちょっと大人になった気がした」のはどうしてか、また、周太さんの悔しかった気持ちがふにやっとなるのはどうしてかを考え、発表する。 ③健さんは、内山さんにどのように質問し直したのかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P29 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④礼儀正しくすることはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ▼本時に考えたことはどんな場面で生かせるかを考える。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接することのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 礼儀正しいということに対して、自分はどのような考えをもっていたかと、自己を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場やさまざまな状況から、礼儀の大切さについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 礼儀正しくすることの大切さや意味について考え、これからの自分の生活に生かそうとしている。	総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	5月 (2)	【やさしさとは】 B (6) 親切、思いやり 4 (8) 教えてあげる？ 持てあげる？	優しい人になりたいと思って「わたし」が取った言動などを通して、優しい人とはどんな人なのかを考えさせ、相手の状況や気持ちを思いやり、よく考えて判断し、親切にしようとする判断力を育てる。	★やさしい人とは、どんな人なのでしょう。 ①友達のことを「やさしいなあ。」と思ったのはどんなときかを思い起こし、出し合う。 ②「①」の例を見て、「わたし」の「やさしさ」についてどんなことを考えたかを発表する。 ③「わたし」は、たっちゃんに何と言えばよいと思うかを考え、「わたし」とたっちゃんの会話を演じて、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④「②」の例を見て、「わたし」の「やさしさ」についてどんなことを考えたかを発表する。 ⑤みきちさんに「重いから、持て。」と言われたとき、「わたし」は何とあればよいと思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P47 の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ⑥人に優しい人とはどんな考えをもっている人か想像し、話し合う。 ▼「考えるヒント」(どうとくでつかうことば)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑦巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手の状況や気持ちを思いやり、よく考えて判断し、親切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 親切、思いやり、やさしさについて、自分がどんなふう考えているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 場面や状況、相手の立場によって、親切や思いやりの形は多様であることに気づき、本当のやさしさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手に対して本当のやさしさをもって接するために、どんな考えや判断を大切にしようかと考えている。	いじめ問題 共生
	5月 (3)	【正直に行動するために】 A (2) 正直、誠実 5 「正直」五十円分	多かったおつりを返しに行った二人の姿などを通して、自分から正直に行動するために大切なことを考えさせ、正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとする心情を育てる。	★自分から正直に行動するために大切なことは、何でしょう。 ①正直に行動できなかった経験を振り返り、出し合う。 ②「『正直』五十円分」を読み、おばちゃんから足りないおつりを返してもらったとき、たけしはどんな気持ちだったかを想像し、発表する。 ③たけしはどんなことを考えて 50 円を返しに行ったかを考え、話し合う。 ④二人はどんなことを話しながら夕焼けの道を帰ったと思うかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書 P29 の「えんじて考えよう」を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼正直にできたときの気持ちを思い出してみる。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正直にできなかった経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正直に行動することについて、自分を偽ることの苦しさや、伸び伸びと過ごせる心地よさの両面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分に正直であるためにどんな姿勢を大切にしていきたいかを考え、これからの自分に生かそうとしている。	図書館活用 消費者教育 法教育
	5月 (4)	【友だちとのよりよい関係とは】 B (9) 友情、信頼 6 絵はがきと切手	料金不足の絵はがきを送ってくれた友人に、それを伝えるかどうか悩むひろ子の姿などを通して、友達とのよりよい関係について考えさせ、互いに信頼し、助け合おうとする判断力を育てる。	★友だちとのよりよい関係とは、どういうものなのでしょう。 ①友達の間違いに気づいたとき、自分はどうしているかを思い起こし、発表する。 ②「絵はがきと切手」を読み、母と兄から意見を聞いたひろ子が迷っているのはどうしてかを考え、発表する。 ③ひろ子が「やっぱり知らせよう。」と思ったのはどんな考えからかを想像し、話し合う。 ▼教科書 P180 の「学びの道具箱」(くらげチャート)を適宜、活用する。 ④友達とよりよい関係を築くために大切なことはどんなことかを考え、話し合う。 ▼自分で考えた「友達とのよりよい関係」に近づけるよう意識することを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達と互いに信頼し、高め合おうとするもののよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達の過ちに対して、自分はどのようにしているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の立場や友達の考えを基に、友達に言い出しにくいことがあったときに、どう接するかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達のことを理解し、友達のために思って行動するには、どんな心が必要かについて考えている。	国語科 消費者教育
	適宜	★心を通わそう★ 相手のことを思いやって声をかけてみよう B (6) 親切、思いやり 年間を通して、適宜、「相手のことを思いやって声をかけてみよう」を読み、「ぼかぼか言葉」をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達に接することについての意識をもつ。				

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	6月 (1)	【わたしの大切なクラス】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 7 みんな、待っているよ	学校や院内学級のみんなからの 手紙を励みに手術に臨む「わたし」の姿などを通して、クラスの よさを考えさせ、自分を支えて くれる人々と進んで関わり、楽 しいクラスをつくろうとする実 践意欲を育てる。	★クラスのよさとは、何でしょう。 ①自分のクラスのよいところを振り返り、発表する。 ②「みんな、待っているよ」を読み、お母さんと院内学級に 登校したとき、「わたし」はどんな気持ちだったかを考え、 話し合う。 ③「わたし」はどんな思いで「早く院内学級に行くよ。そし て、早く退院して、四年三組に行くよ。」と言ったのかを 想像し、話し合う。 ④自分もクラスのみんなに励まされたことがあるか、また、 そのときどんな気持ちになったかを思い出し、話し合う。 ▼自分のクラスのよさを、家の人に紹介する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分を支えてくれる人々と進んで関わり、楽しいクラスを つくることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は、自分のクラスについてどんな思いを抱いているか と、自己を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 クラスの友達とのよりよい関わり方や、それができたとき の気持ちなどのさまざまな面から、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のクラスをどんなクラスにしたいかを考えたうえで、 そのためにできることをしていこうという思いをもってい る。	特別活動(学級活動) 福祉に関する教育
	6月 (2)	いじめをゆるさない心 【正しいと思うことを】 A (1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 8 心のシーソー	よくないことをしている友達を 止めるかどうか悩む一馬の姿な どを通して、正しいと思うこと を行うにはどんな心が大切かを 考えさせ、正しいと判断したこ とは、自信をもって行おうとす る判断力を育てる。	▼友達一人一人を大切にすることはどういうことかについて、 「心のシーソー」と「学級会での出来事」を通して考えるこ とを確認する。 ★正しいと思うことを行うためには、どんな心が大切でしょ う。 ①正しいと思ったことができなかったことはないか、振り 返る。 ②「心のシーソー」を読み、春花に「一馬さんも、そう思う でしょ。」と言われたとき、一馬の心のシーソーはどうし て「言わない」に傾いたのかを考え、発表する。 ③春花に「ないしょ」にしておいてよ。」と言われたとき、一馬の心 のシーソーは、一馬のどんな思いから「言う」に傾いたのか想 像し、話し合う。 ④正しいと思うことを実現するために大切なのはどんなこ とかを考え、話し合う。 ▼心のシーソーが現れたら本時の学びを思い出すことを確 認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと思うことを自信をもって行うことの大切さについ て考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正しくないと考えられることをしている人を止めている か、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいと思っていることを実行に移すことの難しさや大切 さについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと 判断したことは行わないようにしようと考えている。	いじめ問題 共生
	6月 (3)	【一人一人の考えを大切に】 B (10) 相互理解、寛容 9 学級会での出来事	違う意見が出せず、一方的にお 楽しみ集会の内容が決まりそう な学級会の様子などを通して、 話し合いにはどんな気持ちが大 切かを考えさせ、相手のことを 理解し、互いの考えや意見を受 け止め合おうとする心情を育て る。	★みんなで話し合いをするときには、どんな気持ちが必要なの でしょう。 ①いろいろな意見があるときはどうすればいいかを考え、 出し合う。 ②「学級会での出来事」を読み、あずさはどんな思いで「ド ッジボール集会でいいです。」と言ったのかを考え、発表 する。 ③「歌の集会のほうがいいな」と思っていたさとみが、言い だせなくなってしまったのはどうしてかを考え、話し合 う。 ④みんなで話し合いをするときには、どんな気持ちが大 切なのかを考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ) を適宜、活用する。 ▼教科書 P49 のコラム「いじめを見つけたら」を読み、友 達との関わりの中で、自分にできることは何かを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手のことを理解し、互いの考えや意見を受け止め合うこ との大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分とは異なる意見をもつ人に対して、自分はどんなふう に振る舞っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場や言動から、自分の考えを伝え るとともに、相手を理解しようとするものの大切さにつ いて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 いろいろな考えや立場の人とよりよい関係を築いていくた めに、どんなことを心がけていこうかと考えている。	国語科 特別活動(学級活動) いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
たがいにみとめ合うって？	適宜	★コラム★ 〈いじめをゆるさない心〉 いじめを見つけたら A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (10) 相互理解、寛容				いじめ問題
	6月 (4)	【大切な命】 D (18) 生命の尊さ 10 生きているしるし	自分の生まれたときのことを父親から聞き、改めて力強く泣く妹の様子を大切に思うちえ子の姿などを通して、命の大切さについて考えさせ、一つしかない尊い命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★命は、なぜ大切なのでしょう。 ① 命の大切さについて考えたことがあるかを思い出し、発表する。 ② 「生きているしるし」を読み、「わたしと全然にないー」とつぶやいたとき、ちえ子はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③ お父さんの話を聞いて、ちえ子はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④ 私たち一人一人の命はなぜ大切なのかを考え、話し合う。 ▼自分の命が守られているように、自分にも守っていききたい命があるかを考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○一つしかない尊い命を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命の大切さについて、自分がどのような考えをもっていたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、多くの人から大切にされている命について、さまざまな角度から捉えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの人々に支えられている命を大切にしていこうと考えている。	体育科
	適宜	★感じよう いのち★ おなかに赤ちゃんがいると、どんな感じかな。 D (18) 生命の尊さ おなかに赤ちゃんがいると、どんな感じかを実感し、生命を大切にしようとする気持ちをもつ。				いじめ問題
	7月 (1)	自然と共に 【自然の大切さ】 D (19) 自然愛護 11 いのちをつなぐ岬	ウミガメの保護に取り組む人々や観察に励む子どもたちの姿などを通して、自然を守るために大切な心を考えさせ、自然のすばらしさや尊さを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	▼自然を大切にすることについて、「いのちをつなぐ岬」と「このままにしていたら」を通して考えることを確認する。 ★自然を守るために大切なのは、どんな心でしょう。 ① 自分たちの周りにはどんな自然があるかを思い起こし、出し合う。 ② 「いのちをつなぐ岬」を読み、いちばん心に残ったのはどんなところかを考え、理由といっしょに発表する。 ③ 御前崎の大人や子どもたちがウミガメを大切にしているのは、どんな思いからかを考え、話し合う。 ④ 自然を大切にしていこうために自分にどんなことができるかを考え、発表する。 ▼ウミガメについて書かれた本を読む。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自然のすばらしさや尊さを感じ、自然を守ろうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにはどんな自然があるかを振り返り、自然に対して自分はどんな意識をもっているかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 文章を読んだり、写真を見たりして、自然に対して、さまざまな関わり方ができることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然を大切に、環境を守るために、自分にはどんなことができるかを考えている。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 環境教育
	7月 (2)	【みんなの場所で】 C (11) 規則の尊重 12 このままにしていたら	遊びに行った川にレジ袋を放置してしまった「ぼく」の姿などを通して、みんなの場所で気をつけなければならないことを考えさせ、社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする判断力を育てる。	★みんなの場所で、気をつけなければいけないのは、どんなことでしょう。 ① 自分の身近にある「みんなの場所」とはどんなところかを思い起こし、発表する。 ② 「このままにしていたら」を読み、レジ袋が飛んでしまったとき、「ぼく」はどうして「まあ、いいや。」と思ったのかを考え、発表する。 ③ どんどん大きくなってくような立て札の文字を見たとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④ みんなの場所で気をつけなければいけないのはどんなことかを考え、話し合う。 ▼教科書 P64・65 のコラム「ごみやしげんについて考えよう」を読み、限りある資源について考える。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある公共の場所での自分の振る舞いについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公共の場所で規則を守ることの大切さや、それができなかったときに抱く思いなど、さまざまな面から考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公共の場所での規則をきちんと守るためにはどんな気持ちが必要かを考え、自分の生活に生かそうとしている。	共生 環境教育 法教育
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 ごみやしげんについて考えよう A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C (11) 規則の尊重／D (19) 自然愛護				共生 環境教育 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
○「学習のまとまり」を振り返った評価 (4～7 月) ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (6) 親切、思いやり】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 友情、信頼】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B (10) 相互理解、寛容】【D (18) 生命の尊さ】【D (19) 自然愛護】【C (11) 規則の尊重】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
人や社会に目を向けるって？	適宜	★「考える」じゅんぴたいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書 P67 の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「わたしらしき」を見つけよう A (4) 個性の伸長 次の『「わたしらしき」をのばすために』の学習の準備として、自分の好きなこと、得意なこと、苦手なこと、これからがんばりたいと思っていることを、教科書 P137 に書いておく。				
	9 月 (1)	【自分を見つめて】 A (4) 個性の伸長 13 (28) 「わたしらしき」を のばすために	自分らしさを見つける活動と、世界で活躍する二人の子ども時代の話などを通して、自分らしさを伸ばすためにどんなことができるかを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲を育てる。	★「わたしらしき」について考えましょう。 ①どんなものを「わたしらしき」だと思うか、発表する。 ②自分が見つけた「わたしらしき」を、グループで発表し合い、どんなことを考えたか、話し合う。 ③若田光一さんや高田真希さんの文章を読み、自分の「わたしらしき」を伸ばしていくために、どんなことができるか考え、発表する。 ▼「わたしらしき」はどうやって伸ばしていけるのかを考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分自身のよさはどんなところかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 好きなこと、得意なこと、苦手なこと、がんばりたいことなど、さまざまな視点から、自分の特徴について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身を高めていくために、どんな気持ちを大切にしているのかと考えている。	特別活動 (学級活動) キャリア教育
	9 月 (2)	【度をすごすことなく】 A (3) 節度、節制 14 (16) 黄金の魚	願いがかなっても満足せず、欲を深めるおばあさんが、最後は元の姿に戻ってしまう話などを通して、度を越さずに行動するために大切なことを考えさせ、よく考えて節度のある生活を送ろうとする判断力を育てる。	★度をすごすことなく行動するために大切なことは、何でしょう。 ①これまでに何かをしすぎてしまったなと思ったことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「黄金の魚」を読み、次から次へと願いがかなっているとき、おばあさんはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③元の姿に戻った後、おばあさんはどんなことを考えたのかを考え、話し合う。 ④度をすごすことなく行動するために大切なことは何かを考え、話し合う。 ▼しすぎてしまわないためには、どうすればよいか考え、出し合う。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○よく考えて節度のある生活を送ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 わがままな行動を取ってしまっていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物や友達の考えを基に、わがままな行動を取らないようにすることの難しさや、わがままな行動を取ってしまうことによる影響などについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の欲と向き合い、度を越さないようにすることについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	図書館活用 消費者教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	9月 (3)	【ささえてくれている人を 思っ】 B (7) 感謝 15 (23) とくジーの おまじない	長年温かい言葉をかけ続けてくれる「とくジー」に感謝する「わたし」の姿などを通して、生活を支えてくれる人にどんな気持ちで接するのがよいかを考えさせ、尊敬と感謝の心で接しようとする実践意欲を育てる。	★自分の生活をささえてくれている人に、どんな気持ちでせつすればよいでしょう。 ①「自分がお世話になっている人」と聞いて、思い浮かべる人を出し合う。 ②「とくジーのおまじない」を読み、とくジーに「おかえり、元気で、またあした。」と言われると、「わたし」はどうして元気が出てくるのかを考え、発表する。 ③「わたし」はとくジーに、どんな思いを込めたおまじないの言葉を言ったかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P47の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④自分たちの生活を支えてくれている人を思い出し、その人にどんな「ありがとう」を伝えたいかを考え、発表する。 ▼感謝を伝えたい相手に感謝を伝える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生活を支えてくれる人に尊敬と感謝の心で接することについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの自分の生活が、どんな人に支えられてきたのかについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分たちの生活が、さまざまな人に支えられていることや、その人たちにさまざまな感謝の気持ちをもつことができることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りの人のどのようなところに感謝の気持ちを持ち、どのように表していこうかと考えている。	社会参画に関する教育
	9月 (4)	じょうほうと向き合う 【分かり合うために】 B (10) 相互理解、寛容 16 つまらなかった	何気ない言葉を巡って擦れ違う二人の姿などを通して、互いに分かり合うのに大切なことを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、異なる意見も大事にしようとする心情を育てる。	▼情報との向き合い方について、「つまらなかった」を通して考えることを確認する。 ★おたがいが分かり合うために大切なことは、何でしょう。 ①相手の気持ちが分からなくなったことがあるかを思い出し、発表する。 ②「つまらなかった」を読み、めぐみに「つまらなかった。」と答えた信二は、何をつまらないと思ったのかを考え、発表する。 ③またも黙り込んださとしはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ④一言も口をきかない信二とさとしに足りなかったのはどんなことかを考え、話し合う。 ▼教科書P86・87のコラム「インターネット上のやり取り」を読み、気持ちや考えをきちんと伝えるためにはどんなことに気をつければよいのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、異なる意見も大事にすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日頃、友達などの身の回りの人ときちんとわかり合っているかを振り返る。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 なぜ相手とわかり合うことができなくなってしまうのか、さまざまな状況を想定して考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 互いに理解し合い、よりよい関係を築くためには、どのような気持ちが必要かを考えている。	図書館活用 共生 情報モラル
	適宜	★コラム★ 〈じょうほうと向き合う〉 インターネット上のやり取り B (9) 友情、信頼／B (10) 相互理解、寛容				共生 情報モラル
	10月 (1)	【よりよい学校に】 C (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実 17 (29) 学校のぶどう	学校のぶどうの世話をしてくれる人や上級生の話を聞いて、それを手伝おうとする和広と正太の姿などを通して、よりよい学校にするために、一人一人ができることを考えさせ、楽しい学校をつくらうとする実践意欲を育てる。	★よりよい学校にするために、一人一人ができることは、どんなことでしょうか。 ①自分の学校のどんなところが好きかを考え、発表する。 ②「学校のぶどう」を読み、ぶどうの世話をする安田さんや栽培委員の人たちの話を聞いて、和広と正太はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ③和広と正太は、どんな思いで「おてつだいをしてもいいですか。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④学校のために自分にできそうなことはどんなことかを考え、発表する。 ▼自分の学校にも、学校のために働いている人はいるか、また、その人達はどんなことをしてくれているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○よりよい学校をつくるために自分にできることを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の学校の好きなところや、自分が学校でどんなことをしてきたかについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな人が学校生活を支えてくれていることや、自分たちにできることがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 学校生活に積極的に関わるために、自分にはどんなことができるかと考えている。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	10月 (2)	【公平なたいどで】 C (12) 公正、公平、社会正義 18 (21) なおとからのしつもん	人によって態度を変える「なおと」の姿などを通して、公平に接することが大切な訳を考えさせ、誰に対しても分け隔てせず、公正、公平に接しようとする判断力を育てる。	★公平にせつすることは、どうして大切なのでしょう。 ①「公平」とは、どのような意味かを確認する。 ②「なおとからのしつもん」を読み、「①」の場面のじゅんやとひろし、「②」の場面のほなみとゆかこはどんな気持ちだったか、また、周りの人はどう感じたかを考え、出し合う。 ③「なんで、人によってたいどをかせたらだめなの？」というなおとの質問に、自分ならどう答えるかを考え、話し合う。 ▼教科書P47の「考えるヒント」(えんじて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④誰に対しても公平に接することのできる人はどんなことを大切にしているかを想像し、話し合う。 ▼分かっている人も人と公平に接することができないときは、どうしたら乗り越えられるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○誰に対しても分け隔てせず、公正、公平に接しようとする ことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 公平ということについて、自分がどんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人に公平に接することのできない立場や、不公平な扱いを受けた立場、それを見ている立場など、さまざまな視点から、誰に対しても公平に接することの大切さについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても公平に接することの大切さや難しさについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	いじめ問題 共生
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 「友だち」って、なんだろう。 関連する内容項目 B (9) 友情、信頼 A (4) 個性の伸長／B (10) 相互理解、寛容 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「友達」とは何なのか、考えてみる。				
○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【B (6) 親切、思いやり】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 友情、信頼】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B (10) 相互理解、寛容】【D (18) 生命の尊さ】【D (19) 自然愛護】【C (11) 規則の尊重】【A (4) 個性の伸長】【A (3) 節度、節制】【B (7) 感謝】【B (10) 相互理解、寛容】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【昔からつたわる物】 C (16) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 19 (24) ふろしき	日本に古くから伝わるふろしきのすばらしさを知り、興味をもつ「わたし」の姿などを通して、日本に昔から伝わる物に興味や関心をもたせ、それらに親しもうとする心情を育てる。	★日本に昔からつたわる物に、親しみましょう。 ①ふろしきを使った経験について振り返り、発表する。 ②「ふろしき」を読み、実際にふろしきでさまざまな物を包み、気づいたことを発表する。 ③「わたし」の「すてきな発見」とはどんなことかを考え、話し合う。 ▼ふろしきのように、日本で昔から使われている道具には、どんなものがあるかを、社会科と関連させながら思い起こす。 ▼教科書P174の「日本につたわる『くらしの道具』」を見る。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○日本古来の文化に親しもうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の国の文化に関して、これまでの経験を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 日本に昔から伝わるもののさまざまなよさについて気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 日本の伝統や文化に興味をもち続けるために、どのような気持ちを大切にしようかと考えている。	社会科 伝統文化教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	10月 (4)	【力を合わせてはたらく】 C (13) 勤労、公共の精神 20 (10) マリーゴールド	保育園でいやいやながら花を育てる仕事に取り組む千里が、次第に前向きな気持ちになる姿などを通して、みんなと力を合わせて働くことのよさや大切さを考えさせ、みんなのために進んで働くこととする心情を育てる。	★みんなと力を合わせてはたらくことのよさは、何でしょう。 ①これまでにみんなと力を合わせて働いたことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「マリーゴールド」を読み、「草めき、大変そうだなあ。」と思っていた千里が、夢中になって草を抜いていたのはどうしてかを考え、発表する。 ③真実やグループのみんなと顔を見合わせ、につこりしている千里は、どんなことを思っていたのかを考え、話し合う。 ④みんなで力を合わせて働いたとき、どんなことを感じたかを振り返り、発表する。 ▼誰かのために、みんなで力を合わせて、やってみたいことはあるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○みんなのために進んで働こうとすることのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 力を合わせて働き、楽しさややりがいを感じた経験について、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の考えの変化を基に、みんなで力を合わせて働くことや、自分の役割を果たすことのよさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 働くことの大変さも理解しながら、力を合わせて働くときには、どんな気持ちで取り組もうかと考えている。	理科 特別活動(学校行事) 環境教育 社会参画に関する教育
	11月 (1)	【よいと思ったことは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 21 (31) よわむし太郎	よわむし太郎が、殿様から白い鳥を守る姿などを通して、よいと思ったことを行うときに大切な心について考えさせ、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないことは止めようとする心情を育てる。	★よいと思ったことを行うときに大切なのは、どんな心でしょう。 ①「よわむし太郎」という名前から、どんな人かを想像し、出し合う。 ②「よわむし太郎」を読み、殿様の前に立ちはだかったとき、太郎はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③「おまえも鳥といっしょに しとめてしまうぞ。」と言われても動かなかった太郎は、どんなことを考えていたのかを想像し、話し合う。 ④「よわむし太郎」という名前が消えたのはどうしてかを考え、発表する。 ▼勇気を出して、正しいと思ったことを言った人の話を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないことは止めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分が正しいと判断したことを行動に移しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正しいと思うことを行動に移すことや、よくないことをしようとする人を止めることの難しさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 どんな気持ちを大切に善悪を判断し、正しいと思うことを行動に移していこうかと考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	11月 (2)	【きまりの大切さ】 C (11) 規則の尊重 22 (30) ボールのきまり	「ボールのきまり」を守らなくなった光二が、友達の一言から考えを改める姿などを通して、きまりを守らなければならない訳を考えさせ、きまりの意義やよさを理解し、守ろうとする実践意欲を育てる。	★きまりを守らなければならないのは、どうしてでしょう。 ①自分たちのクラスには、みんなで決めた決まりはあるか振り返る。 ②「ボールのきまり」を読み、光二たちはどうしてクラスのきまりを守らなくなったのかを考え、出し合う。 ③「でもそれは、クラスのきまりじゃないだろ。」と言ったとき、光二はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④きまりを守るとはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ▼分かっているのに、ついきまりを守れなくなりそうときは、どんなことを思い出すとよいのかを考え、発表する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○きまりの意義やよさを理解し、それを守ることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の身の回りにある約束やきまりを守っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人にはそれぞれの意見や立場があることを意識し、それらを尊重しながらきまりや約束を作ることの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守っていこうと考えている。	特別活動(学級活動) 共生 法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	11月 (3)	【友だちとは】 B (9) 友情、信頼 23 (7) 友だち屋	「友だち屋」を始めたキツネが「本当の友達」と言われて喜び、商売をやめる姿などを通して、友達とはどんな人かを考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	★友だちとは、どんな人でしょう。 ①自分にとっての「友達」とはどんな人かについて考え、出し合う。 ②「友だち屋」を読み、キツネはどうして「友だち屋」をしようと考えたのかを想像し、発表する。 ③「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのは、どんな考えからかを想像し、話し合う。 ④「友達」とはどんな人のことかを考え、話し合う。 ▼教科書 P173 の「学びの道具箱」(お話カードを使った対話)を適宜、活用する。 ▼もし「友だち屋」がいたら、どう声をかけるかを想像する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとって友達とはどんな存在かを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の考えの変容や友達の考えを基に、友達という存在についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達とどんな関係を築いていきたいかを考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生
	11月 (4)	【命の不思議さ】 D (18) 生命の尊さ 24 生き物と機械	生き物と機械の違いを考えることなどを通して、命とはどのようなものなのかを考えさせ、生命の尊さを感じ、大切にしようとする心情を育てる。	★命とは、どんなものでしょう。 ①「生きているってすごいな。」と思ったのはどんなときかを考え、発表する。 ②「生き物と機械」を読み、本物の犬とロボットの犬の違うところはどんなところかを考え、発表する。 ③生き物の大切さや不思議さとは何かについて考え、発表する。 ④命とはどんなものだと思うかについて話し合う。 ▼「生きているしるし」で考えたことを思い出す。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○生命の尊さを感じ、大切にしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生きていることについて、自分は普段どんな考えをもっているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 生き物と機械の特徴や違いを捉えたうえで、生命の大切さや不思議さ、尊さについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生き物の特徴ともいえる唯一無二の命を大切にしようと考えている。	理科 共生
	12月 (1)	【目標に向かって】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 25 年賀状に書いたゆめ——奥原希望	新たな目標に向かい、世界で挑戦し続ける奥原希望選手の姿などを通して、夢や目標をもって進むことについて考えさせ、目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲を育てる。	★ゆめや目標をもち、進んでいくことについて考えましょう。 ①自分は今、どんな夢や目標をもっているかを考え、発表する。 ②「年賀状に書いたゆめ——奥原希望」を読み、奥原選手が年賀状の目標を変えなかったのはどうしてかを考え、出し合う。 ③奥原選手の挑戦がまだまだ続いていくのは、どんな思いがあるからかを考え、話し合う。 ④自分も何かを達成したいと目標をもったことはあるかを振り返り、その目標にどのように向き合ったか、またはどのように向き合っていきたいかを考え、発表する。 ▼夢や目標に向かってがんばった人について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分で決めた目標を、途中で諦めることなくやり抜こうとする思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもって努力しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 目標を実現するためには、自分自身の努力だけでなく、周りの人の励ましや賞賛があることにも気づきを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自主的に目標を立て、その目標に向かい、強い意志をもって、粘り強く取り組んでいこうと思いを新たにしている。	体育科 図書館活用 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
人や社会に目を向けるって？	12月 (2)	共に生きる 【分けへだてのない行動】 C (12) 公正、公平、社会正義 26 ちょっと待ってよ	友達に対する京一の接し方に疑問を感じた正広の思いなどを通して、誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なことを考えさせ、公正、公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	▼「共に生きる」ために大切なことについて、「ちょっと待ってよ」と「思いやりのかたち」を通して考えることを確認する。 ★だれに対しても、分けへだてなく行動するために大切なことは、何でしょう。 ① 分け隔てのない行動とはどんな行動なのかを考え、発表する。 ② 「ちょっと待ってよ」を読み、「①」の場面で、京一に「なんだよ。しっかりしろよ。」と言われた静花はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③ 「①」の場面で、ため息をついた正広はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ④ 「②」の場面で、しょんぼりしてすに座った友治はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ⑤ 「②」の場面で、正広は「みんな、ちょっと待ってよ。」と声を上げた後、どんなことを言ったのかを考え、発表する。 ⑥ 「①」「②」を通して、京一が誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なのはどんな考えかを話し合う。 ⑦ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 公平に振る舞うことや、分け隔てなく接することについての自分の考えを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誰に対しても分け隔てなく接することの大切さや、それができなかったときの影響などについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても分け隔てなく行動するためには、どのように考えればよいかと考えている。	いじめ問題 共生 福祉に関する教育
	12月 (3)	【さまざまな思いやり】 B (6) 親切、思いやり 27 思いやりのかたち	点字ブロックの考案者を知り、視覚障害者を助ける「わたし」の姿などを通して、人を思いやるとはどういうことかを考えさせ、相手のことを考え、自分にできる親切をしようとする実践意欲を育てる。	★人を思いやるとは、どういうことでしょう。 ① 点字ブロックを知っているかを確認する。 ② 「思いやりのかたち」を読み、「わたし」は三宅さんのどんなところを「すごいなあ。」と思ったのかを想像し、出し合う。 ③ 「わたし」の「これがわたしの思いやりのかたちなんだ。」という言葉にはどんな思いが籠もっているかを考え、話し合う。 ④ 自分が今までにしてもらってうれしかった「思いやりのかたち」を思い起こし、発表する。 ▼教科書P140・141のコラム「見えないしょうがい気づくこと」を読み、「共に生きる」ことについて、さらに考えを深める。 ⑤ 巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○相手のことを考え、親切な行為を自ら進んでしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 今までに自分が受けてきた思いやりを振り返り、自分も人に対して思いやりを表しているかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 思いやりの表れ方はさまざまであることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分がしてもらってうれしかった思いやりについて考えたうえで、自分は人に対してどのような気持ちをもって接していこうかと考えている。	社会科 共生 福祉に関する教育
	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 見えないしょうがい気づくこと B (6) 親切、思いやり／C (12) 公正、公平、社会正義				社会科 図書館活用 共生 福祉に関する教育
	○「学習のまとめり」を振り返った評価(9～12月) ここまで学んだ、【A (4) 個性の伸長】【A (3) 節度、節制】【B (7) 感謝】【B (10) 相互理解、寛容】【C (15) よりよい学校生活、集団生活の充実】【C (12) 公正、公平、社会正義】【C (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C (13) 勤労、公共の精神】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (11) 規則の尊重】【B (9) 友情、信頼】【D (18) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C (12) 公正、公平、社会正義】【B (6) 親切、思いやり】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「美しいもの」をさがしてみよう D (20) 感動、畏敬の念 次の「まわりを見つめて」の学習の準備として、毎日の生活の中で「美しいな。」「きれいだな。」「すごいな。」と思うものを探して、教科書P125の「①」に書いておく。				
	1月 (2)	【美しいと感じるもの】 D (20) 感動、畏敬の念 28 (25) まわりを見つめて	生活の中で「美しいな」「きれいだな」と感じるものを友達と伝え合う活動などを通して、さまざまな感じ方や感動に共感させ、自然の美しさや人の心の気高さをを感じる心を大切にしようとする心情を育てる。	★美しいと思うものについて、考えましょう。 ①毎日の生活の中で見つけた「美しい」と思うものを発表する。 ②身の回りで見つけた「美しいもの」について、友達に伝えたい美しさはどんなところかを考え、友達と伝え合う。 ③友達の見つけた「美しいもの」を知って感じたことや気づいたことを話し合う。 ▼人によって「美しい」と感じるものが違うことを理解し、また、目に見えない「美しいもの」があることについても考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自然の美しさや人の心の気高さをを感じる心の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある物事の、どんなところに美しさを感じているかについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人が美しさを感じる対象はたくさんあり、その理由もさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りにある美しいと思うものを見つけ、それらを美しいと感じる心を大切にしていこうと考えている。	図画工作科
	1月 (3)	【明るい心で】 A (2) 正直、誠実 29 (22) モンちゃんとケロきち	旗作りの投票での過ちを正直に伝えて謝る理子の姿などを通して、正直でいることのよさを考えさせ、過ちを偽ったりごまかしたりせずに素直に改め、明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	★正直でいることのよさは、何でしょう。 ①正直に話すことがちよっぴり苦しいときがないか思い起こす。 ②「モンちゃんとケロきち」を読んで、「だまっておけばいいよ。」という声が聞こえたような気がしたとき、理子はどんなことを考えたかを想像し、出し合う。 ③みんなから、また拍手が起こったとき、理子はどんなことを思ったかを考え、話し合う。 ④これまで正直でいてよかったと思うことはあるか、また、それはどんなときか思い出す。 ▼正直に生活するためにはどんなことを心がければいいか考える。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○過ちを偽ったりごまかしたりせずに素直に改め、明るい心で生活することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他者はもちろん、自分自身をも偽ることなく正直に生きているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の過ちを認め、自分自身に正直でいることの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 正直な行動を取るために、どんな気持ちを大切にしていけばよいのか考えている。	特別活動 (学級活動)
	1月 (4)	【よいところをのばして】 A (4) 個性の伸長 30 空からの目線	好きなことを続けて得意なことに変え、ドローンパイロットになった小澤さんの姿などを通して、自分のよさを伸ばすことのよさを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	★自分のよさをのばしていくと、どんないいことがあるでしょう。 ①「13 みんな同じだったら」で好きなことや得意なことについて考えたことを思い出す。 ②小澤さんの話を読み、どんなことを思ったかを考え、出し合う。 ③小澤さんのように好きなことを続けることにはどんなよさがあるかを考え、話し合う。 ④自分らしさはどんなところか、また、それをどのように生かしていきたいと思うか考え、発表する。 ▼自分らしく生きることを書いた絵本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、長所を伸ばしていくことのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよいところは、どんなところかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分にも友達にも、それぞれのよさがあることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分がもっているよさを自覚したうえで、それを伸ばすにはどうすればよいかを考えている。	図画工作科 図書館活用 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分をのばすって？	2月 (1)	【世界の人々に親しむ】 C (17) 国際理解、国際親善 3 1 わたしの大切なもの	世界の子どもたちの「大切なもの」を紹介した写真や文などを通して、世界の人々や文化などを知り、他国の人々や文化に親しみ、関心をもって触れ合おうとする実践意欲を育てる。	★「大切なもの」から、世界を知りましょう。 ①世界の人々や文化について知っていることを出し合う。 ②「わたしの大切なもの」を読み、自分の「大切なもの」は何か、それはどうしてかを考え、発表する。 ③世界の子どもたちの「大切なもの」と、自分の「大切なもの」を比べて考えたことについて話し合う。 ▼世界の人々やその暮らしについて、もっと知りたいことはないかと考える。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○他国の人々や文化に親しみ、関心をもとうとしている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 世界に対して自分はどうような関心をもっているか、自分を見つめる。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 世界の人々も、それぞれの大切なものがあり、その理由もさまざまであることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 世界の人々や文化についての関心を高め、これからどんな関係性を築いていきたいかを考えている。	総合的な学習の時間 共生 国際理解教育
	2月 (2)	【命のふしぎ】 D (18) 生命の尊さ 3 2 (3 4) スチヌグスージ——命の祭り	島の墓参りでオバアに聞いた話から、命のつながりについて考えるコウちゃんの姿などを通して、命にはどんな不思議があるのかを考えさせ、受け継がれる命の尊さを知り、大切にしようとする心情を育てる。	★命には、どんなふしぎがあるのでしょうか。 ①「ご先祖様」とは、どんな人たちかを確認する。 ②「スチヌグスージ——命の祭り」を読み、コウちゃんは、どんなことが「なんだかふしぎ」に思えたのかを考え、発表する。 ③「命をありがとう！」と言ったコウちゃんはどんなことを思っていたのかを想像し、話し合う。 ④この話を読んで、命についてどんなことを考えたかを話し合う。 ▼命について書かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○受け継がれる命の尊さを知り、大切にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命のつながりについて、自分がどのような考えをもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命が受け継がれていくことの不思議さや雄大さなどのさまざまな面から、命を大切にすることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 たくさんの人から受け継がれてきた自分の命を大切にしていこうと考えている。	図書館活用
	2月 (3)	【家族を思って】 C (14) 家族愛、家庭生活の充実 3 3 ブラッドレーのせい求書	請求書を母に渡したブラッドレーが、母からの請求書を見て涙を流す姿などを通して、家族の一員としての自分について考えさせ、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくらうとする実践意欲を育てる。	★家族の一員としての自分を、見つめ直しましょう。 ①「ブラッドレーのせい求書」を読み、ブラッドレーはどんなことを考えて請求書を書いたのかを想像し、発表する。 ②お母さんの請求書を見て、ブラッドレーはどんなことを思ったのかを考え、話し合う。 ③家族の一員として、自分にできることはどんなことか考え、発表する。 ▼家の人にしてもらっていることを思い浮かべて、家の人に手紙を書く。 ④巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○家族の一員として家族と協力し合い、楽しい家庭をつくることのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族の一員として、自分はどんなことをしているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、家族が家族を思う気持ちの在り方についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族のために自分はどんなことをしていこうかと考えている。	国語科
	3月 (1)	【みんなのために働く】 C (13) 勤労、公共の精神 3 4 神戸のふっこうは、ぼくらの手で	阪神・淡路大震災のとき、避難所で進んでできることに取り組んだ「ぼく」たちの姿などを通して、みんなのために働くことの大切さについて考えさせ、集団の一員としてできることを見つけ、実行しようとする心情を育てる。	★みんなのために働くことの大切さとは、何でしょう。 ①周りの人のために一生懸命働いたことがあるかを振り返り、発表する。 ②「神戸のふっこうは、ぼくらの手で」を読み、次々と大山先生を手伝う大人たちを見た「ぼく」は、どんなことを思ったかを想像し、発表する。 ③「ぼく」はどんな思いで熊の絵が描いてある本を探したのかを考え、話し合う。 ④みんなのために働くことの大切さにはどんなことがあるかを考え、話し合う。 ▼みんなのために働いた経験を思い出し、これから自分にできることを考えたりする。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○みんなのために進んで働くことのよさを感じたときの思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 周囲の人のために働いた経験について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、誰かから言われるのではなく、自分から進んでみんなのために働くことについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 集団の中の一人として、みんなのために自分にできることにはどんなことがあるかと考えている。	社会参画に関する教育 防災教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
自分をのばすって？	3月 (2)	【周りの人にありがとう】 B (7) 感謝 3 5 朝がくると	まど・みちおさんの詩や働く人々の写真などを通して、自分の生活を支えてくれる人々に伝えたいことを考えさせ、その方たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとする実践意欲を育てる。	★わたしたちの生活をささえてくれている人々に伝えたいことは、何でしょう。 ①自分の毎日の暮らしを支えてくれている人は誰かを考え、発表する。 ②「朝がくると」を読み、「ぼく」は「ぼくが作ったのでもない」ものを作っている人に対して、どんなことを思ったかを話し合う。 ③「働くすがた」の写真を撮った小学生たちは、この人たちのことをどのように思っているのかを想像し、話し合う。 ④自分の暮らしを支えてくれている人々に伝えたいことを考え、発表する。 ▼これからも、自分の暮らしを支えてくれている人のことを思い出すことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」にシールを貼る。	○自分たちの生活がさまざまな人々に支えられていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもとうとしている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の生活がどんな人たちに支えられているかを振り返り、その人たちにどんな思いをもっているかを考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の生活がたくさんの人によって支えられていることや、その人たちにさまざまな感謝の気持ちをもつことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の生活を支えてくれている人に対する感謝の気持ちをどのように伝えていこうかと考えている。	国語科 社会科 共生 社会参画に関する教育	
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月)						
	ここまで学んだ、【D (20) 感動、畏敬の念】【A (2) 正直、誠実】【A (4) 個性の伸長】【C (17) 国際理解、国際親善】【D (18) 生命の尊さ】【C (14) 家族愛、家庭生活の充実】【C (13) 勤労、公共の精神】【B (7) 感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月)							
ここまで学んだ、【C (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C (13) 勤労、公共の精神】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (11) 規則の尊重】【B (9) 友情、信頼】【D (18) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【C (12) 公正、公平、社会正義】【B (6) 親切、思いやり】【D (20) 感動、畏敬の念】【A (2) 正直、誠実】【A (4) 個性の伸長】【C (17) 国際理解、国際親善】【D (18) 生命の尊さ】【C (14) 家族愛、家庭生活の充実】【C (13) 勤労、公共の精神】【B (7) 感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							